

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金



2022年4月15日
商工中金

小型 SAR 衛星サービスを展開する J-Startup 企業の 株式会社 Synspective 様に対し、総額 13 億円の融資契約を締結

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間の要する先進分野に取り組む企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（本店営業部）は、株式会社 Synspective 様（本社：東京都江東区、代表者：新井元行様）に対し、小型 SAR（Synthetic Aperture Rader：合成開口レーダー）衛星の製造・打ち上げに必要な資金として、総額 13 億円のコミット型タームローンを締結しました。

同社は、内閣府 ImPACT プログラムの技術成果を応用した同社独自の小型 SAR 衛星「StriX」の開発・運用と衛星による観測データを活用したソリューションサービスの提供をワンストップで行う事業者で、2021 年経済産業省が選定する J-Startup 企業にも認定されています。「StriX」は、天候や時間帯を問わずデータの取得が可能、小型 SAR 衛星群（コンステレーション）を構築することで、広範囲、高頻度の地上観測を可能にするシステムの構築・運用を目指しています。

商工中金は、経営者や投資家、サービス導入先等へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。同社の小型 SAR 衛星によって撮影される地表データを軸に同社から提供されるソリューションが、気候変動リスクに対する防災技術の発展に資するものであるとともに、今後世界の基盤インフラとなるものと判断し、小型 SAR 衛星の製造・打ち上げに必要な資金枠として本融資契約を締結しました。なお、本件コミット型タームローンは、打ち上げ等の計画を達成することで、融資可能額が増加する条件を付しており、必要となる資金を必要なタイミングで融資を可能とするものです。また、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に基づき無保証にて対応しています。

商工中金は、創業ステージにある中小企業の皆さまを支援するとともに、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまの「SDGs（持続可能な開発目標）」に貢献する取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社 Synspective 様の概要】

所在地	東京都江東区三好 3-10-3
代表者	新井 元行様
資本金	1 億円
従業員数	153 名（2022 年 4 月現在）
設立	2018 年 2 月
業種	情報処理サービス業



【小型 SAR 衛星「StriX」】